

デイサービスMILK新 運営推進会議報告書 (第16回)

日 時 令和7年3月26日(水) 15時～
場 所 MILK新 地域交流スペース
出席者 別紙
あいさつ
議題

1) サービスのご利用者状況 (R7.2月末現在)

①利用人数：129名（男性43名（33.3%）女性86名（66.7%）午前59名・午後71名、うち両方1名）

※参考 R6.2月末時点の登録者数：123名（男性43名（35.0%）女性80名（65.0%）

※昨年と比較すると、利用者人数が6名増えています。

②介護度別人数（介護度未定者：0名）※【123名】は昨年2月末人数（介護度未定者：0名）

※支援2が44名（34.1%）、介護1が32名（24.8%）と利用者全体の約6割を占めています。

※介護3以上の利用者の方は5名（3.9%）と少ない状況です。

② 介護度別人数

	事業 対象者	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
男性	3名	4名	7名	19名	7名	2名	1名	0名	43名
女性	12名	18名	37名	13名	4名	2名	0名	0名	86名
合計	15名	22名	44名	32名	11名	4名	1名	0名	129名
(%)	11.6%	17.1%	34.1%	24.8%	8.5%	3.1%	0.8%	0.0%	100.0%
R6.2月末	【19名】	【14名】	【35名】	【37名】	【13名】	【5名】	【0名】	【0名】	【123名】

【123名】はR6.2月末

※男性：【43名】

※女性：【80名】

③総合事業

※総合事業（事業対象者・支援1・支援2）の利用者の方が81名（62.8%）となっています。

昨年は68名（55.3%）でした。総合事業の利用者が多いという傾向は昨年と変わっていません。

③ 総合事業

総合事業		介護		合計
人数	割合	人数	割合	人数
14名	32.6%	29名	67.4%	43名
67名	77.9%	19名	22.1%	86名
81名	62.8%	48名	37.2%	129名
【68名】	55.3%	【55名】	44.7%	【123名】

【 】はR6.2月末

※男性：【43名】

※女性：【80名】

④曜日別利用者数 (R7.3.17日現在)

※定員の18人に達している曜日は午前は月・木・金曜日、午後は水曜日です。

それ以外の曜日は午前・午後とも達していません。

※土曜日の午後は11人と最も利用者が少ない状況です。

※定員18人に対して利用できる総人数から計算しますと、あと18人が利用可能人数となります。

	月	火	水	木	金	土	合計	差引
午 前	18	17	17	18	18	17	105	▲3
午 後	15	15	18	17	17	11	93	▲15

⑤地区別利用者状況 (R7. 2. 28 現在)

※地区別では利用者総数 129 名の内、旧斐川が 113 名の 87.6%、旧出雲 10 名の 7.8%、旧平田 6 名の 4.7% となっています。旧斐川は昨年より 8 名利用者が増加しています。

旧出雲は増減はありませんが旧平田は利用者の方が減少しています。

※旧斐川では、事業所所在地の庄原地区が 33 名 (25.6%) と最も多く、次いで出西 24 名 (18.6%)、直江 22 名 (17.1%)、伊波野 14 名 (10.9%)、久木 11 名 (8.5%)、出東 9 名 (7.0%) となっています。

⑤ 地区別利用者状況(2025/2/28現在)

	旧出雲	旧平田	旧斐川	地区計
男性	5名	5名	33名	43名
女性	5名	1名	80名	86名
合計	10名	6名	113名	129名
(%)	7.8%	4.7%	87.6%	100%
R6.2月末	【10名】	【8名】	【105名】	【123名】

地区別利用者状況(2025/2/28現在) 旧斐川地区

庄原	出西	伊波野	直江	久木	出東
8名	7名	4名	7名	6名	1名
25名	17名	10名	15名	5名	8名
33名	24名	14名	22名	11名	9名
25.6%	18.6%	10.9%	17.1%	8.5%	7.0%
【25名】	【23名】	【16名】	【20名】	【9名】	【12名】

⑥R6.2月～R7.2月の新規者総数

※一年間で 47 名 (男性 15 名、女性 32 名) の新規の利用者がありました。

※男性 15 名の新規利用者に対して、女性は 32 名と女性の利用者数が男性の倍近い状況でした。

※R7.1月を除いて毎月新規の利用者があっています。多い月は 7 名～6 名程度ありました。

⑥ R63月～R72月の新規者総数 :46名(男性16名・女性30名)

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7.1月	R7.2月	計
男性	2名	0名	1名	2名	3名	0名	3名	1名	2名	0名	0名	1名	15名
女性	4名	3名	5名	4名	2名	2名	0名	3名	5名	2名	0名	2名	32名
合計	6名	3名	6名	6名	5名	2名	3名	4名	7名	2名	0名	3名	47名

⑦R6.2月～R7.2月の終了者総数

※一年間で 41 名 (男性 15 名、女性 26 名) 終了された利用者がありました。

※男性 15 名の利用終了者に対して、女性は 26 名と女性の終了者数が男性の 1.7 倍の状況でした。

※R6.3月を除いて毎月利用終了者があります。多い月は 7 名～5 名程度ありました。

⑦ R63月～R72月の終了者総数 :40名(男性15名・女性25名)

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7.1月	R7.2月	計
男性	2名	2名	0名	0名	3名	1名	3名	0名	1名	2名	1名	0名	15名
女性	5名	3名	0名	2名	4名	1名	0名	3名	4名	1名	0名	3名	26名
合計	7名	5名	0名	2名	7名	2名	3名	3名	5名	3名	1名	3名	41名

※終了理由: 41 名

(死亡 0 名、長期入院 6 名、体調不良 11 名、施設入所 3 名、老健施設 4 名、他のデイ 11 名、その他 6 名)

MILK より) 他のデイ・その他の理由としては、お体の状況、ご家族の都合により、入浴があるところや一日利用ができるところを希望されての終了となりました。

⑧平均年齢 (2025/2/28 現在)

※利用者 129 人での平均年齢は 84.14 歳 (男性 43 人: 82.63 歳、女性 86 人: 84.90 歳)

※R7.1月に 100 歳になられた男性 1 名 (現在 100 歳) が最高齢です。

女性は昨年 9 月に 98 歳になられた方が最高齢です。

65 歳の男性、67 歳の女性の方が最年少の利用者です。

※80 歳台が 74 人 (57.4%)、90 歳台が 25 人 (19.4%) となっています。

⑧ 平均年齢(2025/2/28現在)

区分	50歳～	60歳～	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男性	0人	2人	5人	8人	8人	13人	4人	3人	43人
	00.00歳	67.00歳	72.20歳	77.13歳	81.38歳	87.08歳	91.50歳	97.33歳	82.63歳
女性	0人	1人	5人	9人	22人	31人	15人	3人	86人
	00.00歳	67.00歳	72.20歳	77.44歳	82.27歳	87.06歳	91.87歳	96.33歳	84.90歳
合計	0人	3人	10人	17人	30人	44人	19人	6人	129人
	00.00歳	67.00歳	72.20歳	77.29歳	82.03歳	87.07歳	91.79歳	96.83歳	84.14歳

⑨紹介事業所数：24事業所

※昨年の21事業所から24事業所と3事業所の増となっています。

MILKより) 斐川高齢あんしん支援センターで50名近く、斐川生協病院で17～18名の紹介。一番少ないところでは一人か二人紹介いただいています。

2) 行事等報告 (R6.9月～R7.2月末、デイサービス・小規模合同)

①避難訓練(消防)の実施について(毎月お菓子の日(25日)の午前・午後に実施、時間は状況により決定)
9/25(水)、10/25(金)、11/25(月：中止)、12/25(水：中止)、1/25(土)、2/25(火)

※マンツーマンで屋外への避難誘導。室内の点検(窓閉め、トイレ内、ガス等)。点呼による避難者確認。

MILKより) 11/25(月)と12/25(水)は寒かったり、職員の関係で中止しています。

②研修(全職員対象：新、富)

・ハラスメント研修 12/6(金)、10(火)：MILK新 12/13(金)、16(月)：MILK富

・高齢者虐待防止研修(社内)

2/13(木)、2/19(水) MILK新

2/14(金)、2/18(火) MILK富

MILKより) MILK富、MILK新の事業所で合同の研修を行いました。自分の都合のつく日にちに参加を行い、後日研修報告書を提出しています。

③斐川東中学校生徒の体験学習 9/4(水)～9/5(木)の2日間、9/6(金)不幸があり中止

④じゃんけん大会(敬老の日) 9/16(月)午前・午後

⑤そば打ちのボランティア 12/11(水)10時～(割りご蕎麦・午前、午後 1杯/1人)100人分

⑥荘原保育園へのクリスマスプレゼント 12/17(火)10:00～ 小規模職員2人、小規模利用者

MILKより) コロナの流行により、玄関先でクリスマスプレゼントをお渡しさせていただきました。

⑦ドライブコンテストの実施(7/11～12/31…174日間：1チーム3人)

参加者：新・富、23チーム(69人)達成21チーム(63人)達成率91%(前年度71%)

⑧フットケア(外部専門家による巻き爪処置：地域交流スペース)

12/7(土)午前10:00～ デイ2人・小規模2人

2/8(土)午前10:00～ デイ2人・小規模2人

⑨eスポーツ(対戦型) 2/6(木)

MILKより) パソコンを使用して、MILK富とMILK新で対戦するゲームをしていただきました。とても好評で

した。マシンでの運動だけではなく、パソコンでの対戦でひとつの刺激になったのではないかと思います。

(地域住民の代表者様より)

意見：ドライブコンテストとは、どのようなものですか？

回答：無事故・無違反を目指したコンテストです。達成できたチームには、警察からSDカードが送られてきます。交通ルールを守っていれば問題はないです。意識するためのひとつのツールという形で、参加しています。

(高齢者福祉課様より)

意見：斐川東中学校生徒の体験学習は何人ぐらい来られましたか？

回答：女性の方ひとりです。一日目はデイホールでご利用者への対応、二日目は小規模でご利用者への対応を熱心にしていただきました。

3) ヒヤリハット、事故報告事例について (R6.9～R7.2月末)

●ヒヤリハット事例

① K・K様 9/21 (土) 17:20 頃の送り時 (防犯カメラに記録あり)

内容) 夕方の送り時に利用者の〇〇様を職員の〇〇が後方で付き添いホールから玄関、送迎車へと2本杖を使用されてゆっくりと歩行されている途中、中央にある送迎車両の左後方付近に近づこうとした瞬間、左膝が崩れ、〇〇様の左前方にあった木製の椅子に上半身を臥せるようにして(持たれかけのように、杖は離されている)両膝から倒れる。(両膝とも地面に着いたと本人談)倒れる時に職員〇〇が手で支えようとしたが間に合わなかった。

対応) 後ろに付き添っていた職員〇〇が姿勢を崩された〇〇様を直ぐに抱えて倒れるのを防ごうと動いたが間に合わず倒れた。ゆっくり起き上がって頂き木製の長椅子に座ってもらった。〇〇様が「膝を擦りむいた」と言われたので確認をすると、見た目では解る傷は無く、〇〇様が「動ける」と言われたので、職員〇〇の見守りで送迎車に乗って頂いた。

原因) 前方に両膝をつかれるように倒れたが、支えることができなかったので見守り位置に問題があったと思う。

対策) ・二本杖で前方に体重をかけて歩行されているので、見守り位置は後方では抱えることは難しいので、前方で(利用者の前)利用者の足元に注意して向かい合わせて見守りを行う。
・出来れば歩行器で歩行して頂くよう働きかける。
・事故が起きた時には、他の職員に応援を求める。上司がいればすぐに報告して対応を求める。
・送迎車両までの距離が長い場合には、途中での休憩をとっていただく事もあり得る。
・送迎車両までの距離を出来るだけ短くする。

追記) 9/23(月)本人様へ電話(職員:〇〇)をかけてお体の状態を伺う。

9/21(土)は念のため痛み止めを服用し就寝。一晩(●●)が思ったが、そうした状況にもなかった。
現在も痛みは無く湿布で対応中。転倒時は両膝を地面に着くように倒れたとの事。(本人談)

② H・Y様 R6.12.6 (金) 13:00 頃

内容	ホールで自席にて座っておられ、急に立ち上がり玄関の方へ向かわれた。声をかけると「もう帰る」と発言される。職員の〇〇が「車がまだですので、ホールに戻りましょう」等と話し、静止するものの外へ向かわれる。玄関から出られ施設から500m位西の方角に歩かれる。
対応	一緒に歩きながら声を掛けホールに案内する。主任(●●)が本人を説得して施設内に戻られる。
原因	以前から帰宅願望がある方で、ホール内にいる時にもう少し会話等を考えておく必要があった。
対策	施設外に出られようとした時に大きな声で人を呼ぶ。ホール内におられる時に一人の職員が出られたのを把握しておくのではなく、ホールにいる職員は必ず全体を見ておく。作業をしても時々周りを見て全体の動き(利用者様の動き)を把握する。

内容	職員が事務所へ書類を取りに行こうとすると、利用者様より「あの人出て行ったよ。」と言われたので、急いで施設周辺を探索した。その前に、11時半で休憩に入った職員が職員駐車場で自分の車で休憩を取って居たところ、●●様が事務所の方から来られたのを発見。暫くは様子を見ていたが(他スタッフがホール内から出て来るかもしれないと思い)、職員駐車場より西の方へ一人で行かれ、咄嗟に携帯電話を取り、会社へ連絡する。電話をしながら●●様を追いかけ、一人で北側の道路を横断されたので、アパートの前で声を掛ける。事務所に居たスタッフもその電話に対応し、ホール対応又は●●様探しに加わる。アパートの前で●●様にMILKへ戻るよう声を掛けたところ(「荷物がありますよ。」「奥様心配されますよ。」などの声掛け)、「戻ります。」と言われ、向かってる途中で職員と交代し、ホールに戻って頂いた。
対応	利用者の●●様がどこにおられるのかを施設内・外を探索する。 動けるスタッフは手を止め、ホール対応又は●●様を探す。
原因	もともとホール内には2名配置をしていたが、1つの作業に夢中になり、たまたま下を向いていた。(一人はバイタル測定、一人は給湯室)→利用者様に言われ、慌てて気付く。 ホール対応する職員は最低でも2名は行動を確認する。(給湯室に入るのはホール対応中とはならない。) ホールを都度確認する又は見渡す事が出来ていなかった。 今日はいい感じに座っておられたので、油断していた。 (トイレに行かれる際にもちゃんと「トイレに行く。」とおっしゃられていた。)
対策	・必ず2名配置の中で全体の利用者様を把握をする。 ・他の職員が見てくれているという油断をしない。(全体像が見える位置で)ホールを見て、利用者様の行先(トイレなど)を必ず把握、又は対応する。一人作業に集中しない。 ・今、ホールの見守りから離れていいのか(給湯室含む)、瞬時に判断を行う。 ・帰宅願望がある為、職員が側に座り、お話をゆっくり傾聴する。

④ K・H様 R6.12.18 (水)

内容	来所後、8:55自席でテーブルに頭を伏せ鼻汗をかいておられる。名前を呼ぶも返事なし。顔を上げて見ると閉眼しぐったり意識消失見られる。顔面。手に冷汗、皮膚湿潤あり右上肢だらしとしている。小規模看護師の応援あり。
対応	8:57 救急車要請の連絡(職員●●)。家族に連絡(他の職員○○)。 9:00 血圧エラーで測定不可。静養室への移動は出来ず床に毛布を敷き移す。ズボンのベルトゆるめ義歯除去。体温35.0℃脈拍 橈骨動脈弱くて測定出来ず。頸動脈56微弱 SPO2 92～変動。 呼吸22 血圧93/54 SPO2 97 9:10 開眼される。名前を呼ぶと返事あり。「なしてだらか」と発語あり。 9:20 救急車到着(斐川消防車の救急車が全て出ていた為、平田消防署からの救急車)。 救急隊員により応急措置をして病院への搬送となる。家族の要望では県中であつたので、その旨を伝える。 消防署の判断で徳洲会への搬送となる。 9:30 孫さんから事務所に電話があり、今県中にいますが、救急車が到着していないようですがどうなっていますかと問い合わせがあり、先ほど県中に向かわれたことを伝える。 9:30 搬送(徳洲会病院) 9:40 病院到着(娘様に搬送先の変更の連絡をするも通じず留守電話に伝言する。)病院でMILKでの状況を説明する。説明が終わった頃(10時過ぎてから)MILK新に搬送先変更の連絡をする。 9:55 県中に搬送されているので孫さんに状況説明と救急車に同乗した職員を迎えに行く。職員が見当たらず職場に連絡しようとしたところ、職場から徳洲会に搬送されていると連絡あり。 10:00 孫さんに徳洲会病院に搬送されている旨を話し、別々に病院に向かう。 10:15 病院に到着後、救急車に同乗していた職員から孫さんに状況の説明を行う。その後、娘さんが到着。再度、説明を行い、2人の同意を得て事業所に戻る。
原因	本人様が意識消失されたため。その原因は不明。
対策	①異常に気が付いた職員が素早く対応(状況に応じて救急車の手配等)し指示をする。 ②指示を受けた職員は関係者(家族、ケアマネ等)に連絡をする。 ③他の職員は利用者が動揺しないようする。④事務所にも連絡をする。⑤外部から連絡があれば状況説明をする。 ⑥救急搬送に付き添った職員は利用者のファイルを持参し、搬送先に付いたら直ぐに施設に連絡をする。 ⑦家族が到着するまで付き添った職員は待機し、家族到着後にはこれまでの状況を説明する。 ⑧家族の了解を得て事業所に戻る。

4) 意見交換

(あんしん支援センター様より)

意見：②③のH・Yさんは、最近からご利用の方ですか？

回答：昨年の途中からご利用されています。帰宅願望が強い方でしたので都度気をつけてはいましたが、スッと出られてしまいました。

意見：まだ慣れられる前だったからですか？

回答：慣れられてはいましたが、自宅へ帰らないといけないという気持ちが強い方です。

帰宅願望が強い方への接し方は非常に難しいです。2回目以降、同じような事例はありませんので見守りがきちんとできていると思っております。

昼食を提供させていただいていますが、自宅に帰られてから「MILKで食べていない」とお話しをされ、心配されたご家族様からお電話が何度かありました。今は、そういったことはありません。

(地域住民の代表者様より)

意見：救急搬送の時には、職員がついて行けますか？

回答：確実に職員がついて行きます。消防へ連絡の際、状況の説明をして「ご家族は県中を望んでおられます」と伝えていましたが、デイホールで対応中にご本人の意識が回復したため、消防職員の判断で徳洲会病院へ変更となった様です。

そのこと(変更になったこと)を職員がすぐに事業所に連絡をしていれば、ご家族に正確なことがお伝えができ、県中に行かれることはなかったはずで、すぐに連絡しなかったことをよくよく注意しました。

意見：搬送先が変更になった時点で、すぐに連絡をしていれば、家族も施設もバタバタすることはなかったんじゃないかなと思います。こういう事がまた起こるかもしれないので、反省点だと思います。

(高齢者福祉課様より)

意見：どういった立場の方が付き添われますか？

回答：いちばん近くで対応した職員が最後まで責任を持って付き添い対応します。

(地域住民の代表者様より)

意見：③ですが、勝手に出ていけるんですね？

回答：ホールの扉を開けて出られた時、職員がすぐに声掛けをして中に入ってもらわないといけませんが、気づかず出て行かれた状況です。鍵をかけることはありません。

意見：保育園のようにゲートをしたらだめなんですか？職員さんも大変でしょう。

回答：全職員が注意をし、しっかり見守りをして、玄関から出られそうなお利用者様を見かけた時には、お話しを伺い傾聴しながらホールに入っていただかないといけません。

意見：何かあってからでは遅いので問題がなければゲートなどされたいと思いますが、法律上まずいのですか？

回答：夜間に一人で外に出られないように非常口に鍵をかけることは消防法により難しいです。昼間はしっかり意識をして見守りをしていくしかありません。

5) その他

①通所介護のサービス提供体制強化加算(Ⅲ)から加算(Ⅰ)への算定変更について(R7年4月～)に

(1)サービス提供体制強化加算とは

サービスを提供する事業所の職員(介護従事者)の専門性やキャリアアップを推進する観点から、介護福祉士の資格を保有している職員が一定割合雇用(70%)されている事業者が提供するサービスについて加算(算定)が出来る。

○R7.4月から算定

【加算Ⅰ】介護福祉士の占める割合が70%以上であることが要件

【地域密着型通所介護】(1割負担の場合)

①午前の部 ②午後の部

※サービス提供体制強化加算(Ⅲ) 6円/回 → ※サービス提供体制強化加算(Ⅰ) 22円/回

【通所介護従前相当サービス】(1割負担の場合)

①午前の部 ②午後の部

※サービス提供体制強化加算(Ⅲ)

- ・週1回程度(要支援1 要支援2 事業対象者) 24円/月
- ・週2回程度(要支援2、事業対象者(※1)) 48円/月

※サービス提供体制強化加算(Ⅰ)

- ・週1回程度 88円/月
- ・週2回程度 176円/月

MILK より) 本日、高齢者虐待防止委員会を開催し構成等含めて検討しました。ご利用者に安心安全に利用いただくためにこういった委員会の設置をしていくことになると、職員も勉強をしながら対応をしていく必要があると思います。

職員のハラスメント研修や認知症研修などの機会がありますので、職員が講師を務めながら研修を行っていきたいと思います。

(高齢者福祉課様より)

意見：午前と午後の利用時間は何時間ですか？

回答：午前が8:45～13:50の5時間5分、午後が14:15～17:20の3時間5分です。

MILK より) 次回は、第17回を9月に開催します。